

新玉の

年を迎えて

信心も

改まりてぞ

まことめでたき

甘木親教会

初代教会長

安武松太郎師御歌

いっしん

令和7年(2025年)

1月号

第476号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

立教166年／小倉教会布教140年／甘木親教会布教121年／加治木教会布教74年



安武松太郎師御歌

今日もまた神のみかげに我ありと
思えば楽し喜びの春

喜びは人の心の真なり

日々を喜び礼びてぞゆけ

令和七年の

新春を迎え

させていただきます

(教会長)

新年明けましておめでとうござい
ます。

共々に令和七年の新春を迎えさせ
ていただきます。有り難いことに存
じます。お道では本年、教祖百四十
二年のお年柄を迎えさせていただき
甘木親教会は布教百二十一年を迎え
られ、加治木教会では布教七十四年
を迎えさせていただきます。

本年も、いっそう信心の向上・成長
に努めさせていただきます。成長
の喜びを分かち合いたいものであ
ります。本年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

また、私どもの真のおかげ真の幸
せは、今助かり立ち行く目先のおか
げだけを目標にしているは頂くこと
ができません。子供や孫の末々まで
伝わることができ、世代を超えて共
に喜び合える信心を求め現し、進め
させていただきます。行きましよう。

新年のご挨拶… P1
輔教集会… P3～4

甘木親教会生神金光大神御大祭… P2
お知らせ… P5 教会行事… P6

甘木親教会

生神金光大神御大祭

仕えられる

九州全域にようやく紅葉前線が
とずれた十二月三日、甘木親教会で
は、生神金光大神御大祭が仕えら
れました。



このたびの甘木親教会 生神金光
大神御大祭は、十月二十七日にお仕
えになられた、布教百二十年記念大
祭でのご教話を改めてビデオで拝聴
させていただきました。

安武道義親先生が、立教神伝をご
奉読されたあと「記念祭での金光清
治先生がお話しくだされたご講話を
改めて聴かせていただきましたよ」と
とお話しされ、その後、安武道義
親先生もお広前に出てこられ、参拝
者とともに改めて『信心の道』を求
めて』との講題のご講話を拝聴させ
ていただきました。

出社教会の信奉者一同も、親教会
の記念祭や記念講話を、その時限り
のイベントにしているはもったいな
いことで、何度でも、ご講話を聴き
返し、参拝のおかげをこうむらせて
いただいた中にもるご神慮をかえ
りみ、復習し反芻して信心の血肉に
させていただいて行くべきでしょう。



境内の銀杏も別館のもみじも
色づき天地のお恵みに
目を楽しませて
いただきました。



布教120年記念大祭での、金光清治先生のご講話『信心の道』を
ビデオであらためて拝聴させていただきました。

令和六年度
輔教研修会



南九州教区輔教集会の熊本会場は、令和六年八月二十五日に二本木教会で開かれ（二十四名出席）、大分会場は令和六年九月八日に大分教会で開かれまして（二十六名出席）。

加治木教会からは、上田和也さんと星原光太郎さんが、熊本会場に出席させていただきました。

＊ 本部教庁「布教部」の報告によりまして、令和六年度、全国の各教区において開催された「輔教集会」の受講者は百三十一教会二百十二人だったそうです。その中で、本部総合庁舎で開催された輔教志願者講習会（八月二十四日・二十五日）輔教開会のお届けでは、教主金光様から、「皆さま、それぞれに願いを立てられ、輔教志願者講習会によくお集まりでございます。ここまでのお礼を土台に、『人が人を助けるのが人間である』との教祖様のおぼしめしを頂いて、わが道の信心を現し、天地金乃神様のありがたいことを伝え、お役に立たせていただきたいと思います。どうぞよろしく願います。」

＊ とのお言葉があったということです。

輔教には、教会活動及び教団布教の担い手となる自覚を高め、「道伝え」の精神が志願者の中に現れてくることが願われています。

そのために、教団が「輔教集会」を開催し、講師による講話や班別懇談をおとして、金光教についての理解を深める研修が行われます。

令和六年度の、全国の各会場では、輔教講師が「なぜ信心をするのか」「お道

の信心が伝わっていく自分になるには」「輔教として願われること」など、本教の大切なところを押さえながら、講師自身の信心のルーツや取り組みの実際、在籍輔教の取り組みなどについての講義がなされました。

受講者からは、「輔教の在り方を再認識する良い機会になった」「おかげを受けたことを人に伝え、信心を土台にしてこれからもおかげを受けていく自分になりたい」などの感想が聞かれたということです。



南九州教区輔教集会

*

熊本会場のようす

○前半輔教講師の講話



はじめに、輔教の意義について説明し、輔教も教師も金光様より、本教の願いの中でご任命いただいていることを五代金光様のお言葉や現教主金光様のお言葉をとおして説明しました。

つづけて、自身が在籍する小林教会初代中村八郎師の事跡をとおして、「私たちは、今ご用をいただいているが、ご用ひとついただくにも命があつてのこと、神様から命というおかけをいただかなければ、信心を伝えるという輔教の役目も立っていかないと語りました。

最後に、未信奉者である友人や金光教を知らない人に信心を語った際の経験をおとして、「教典にあるみ教えを語るより、実体験や実感を話さなければ、伝わらない」と結びました。

○後半「推し活金光教」
まず、五〜六人の班に分かれて、各々、本教の魅力（好きなところ、好きなみ教えなど）を付箋一枚につき一つ書き、それを書けるだけ書いてもらい、次に、書いてもらった付箋の内容を班員で確認しながら内容ごと（取次に関わること、み教え、本教の特徴など）に仕分けを行い、模造紙に仕分けした内容別に貼りました。



最後に、各班の模造紙を全員の前に貼り出し、それを菊川所長が自らの経験と併せてポイントとなる点をとりまとめました。

参加者からは、「息子や孫に信心を伝えたいが、中々上手くいかず、輔教講師の話聞いて、お取次を願う大切さや、実体験を話す大切さがわかった」、「推し活金光教で、本教の魅力についてあまり浮かび上がらず、付箋に書けなかったが、他の人たちの書かれた魅力と一緒に分類している中で、こんなにも魅力があったのだと痛感させられた。もっと意識していこうと思います」など感想がありました。

◆◆◆◆◆
【「輔教」の制度の中で信心の研鑽を！】
(教会長)

このように教団の「輔教」制度の中で信心の勉強・研鑽がなされています。

本来、この世に天地の親神様から命を賜り産まれた時から、天地の親神様から大きな願いや愛情が一人ひとりにかけられています。その願いや愛情を信心を進めてわからせていただき、親神様にお喜びいただき、ご安心いただき、ご信用いただき、お使いいただくことのできる氏子に育って行くことが、このお道の信心であります。

感 詠 (教会長)

変調も出てくる身体この日まで
 はたらきつづけくれしを礼ぶ
 外七度吐く息白くなりもせず
 まだ厳寒の訪れぬ朝
 寝床入る前にお神酒を温めて
 頂き風邪の快復祈る
 年末に賀状ととのえ世話になる
 人たちの顔思い起こしつ

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から
 親神様の御立場に立った信心に、
 親神様を使う信心から
 親神様にお喜びいただき
 「安心いただき
 」ご信用いただく信心に、
 おかけを信じる信心から
 親神様・ご神慮を信じる信心に、
 改まらせていただく「う。」

「改まりの願い」は『安武松太郎 教話集 第十集』と
 「私の頂く安武松太郎師」に示されてある信心内容を
 集約したものです。

ご霊神様の

お立日

一月



- 中村宗吉 之霊神(4日) 昭和61年
 - 松田常衛門 之霊神(4日) 大正9年
 - 中村正義 之霊神(5日) 昭和21年
 - 内村ハル工 之霊神(6日) 昭和59年
 - 有馬幸子 之霊神(9日) 平成16年
 - 西本五男 之霊神(11日) 平成15年
 - 濱口マツ工 之霊神(11日) 平成27年
 - 濱口勝次 之霊神(11日) 昭和27年
 - 前田正蔵 之霊神(13日) 昭和39年
 - 瀬戸セミ 之霊神(14日) 昭和56年
 - 小屋敷勝 之霊神(14日) 平成1年
 - 信國鈴子大乃自 之霊神(20日) 平成5年
 - 中島ふさ 之霊神(20日) 平成16年
 - 福山瑞枝 之霊神(20日) 平成21年
 - 瀬戸俊子 之霊神(23日) 平成27年
 - 柳園義男 之霊神(24日) 昭和8年
 - 本中野イセマツ 之霊神(25日) 昭和59年
 - 岡山エク 之霊神(25日) 平成20年
 - 桐野仲助 之霊神(27日) 昭和21年
 - 瀬尾 清 之霊神(27日) 昭和41年
 - 向江フキ子 之霊神 令和5年
- 「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働き
 あつての今日私たちであります。」
 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申
 し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉
 串の奉てんを準備しています。

12月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) ●甘木親教会御大祭
- 8 (日) 御本部布教功労者報徳祭(遥拝)
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●生神金光大神様月例祭 10時半
- 12 (木) ●連布教協議会(加治木) 10時半
- 14 (土) 15(日)
- 信徒部 教区委員会(熊本県 上田氏)
- 21 (土) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (月) 安武文雄大人立日御祈念 11時
- 24 (火) 甘木手柴家 終祭(教会長)
- 25 (水) 甘木手柴家 告別式(教会長)
- 29 (日) 清掃御用 10時
- 30 (月) ●越年祭 13時半

少年少女全国大会に向けての まごころ運動

折り鶴 一七三七羽
 古切手 一〇一枚
 古テレカ 一枚 集まりました。
 「協力ありがとうございました。折り鶴は、
 わかば祭にお供えされ、広島長崎の平和記
 念公園に贈られます。」

一月三日(金)

甘木親教会年頭参拝

一月六日(月) 十時半より

加治木教会

少年少女会

鏡開き・七草

※おかがみ餅を焼いてのぜんざいと七草たこ焼きを作ります!

一月十日(金) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十三日〜二十九日

報徳祭奉迎

寒中一斉信行

ご祈念・研修(午前五時三十分・午前十時) 教話集などを讀んでの研修

教会行事

令和七年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
- 3 (金) 甘木親教会年頭参拝
- 6 (月) ★少年少女会「鏡開き」10時半
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 鹿児島県教誨師会(教会長 西本願寺にて)
- 10 (金) ●月例祭・成人感謝祭 10時半
- 11 (土) 濱口家霊祭(宅祭)
- 16 (木) 連合会執行部会(上荒田 教会にて) 10時半
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
- 26 (日) 連合会定期総会(鹿児島 教会にて) 10時
- 31 (金) 清掃御用 10時

一月二十六日(日)十三時より

鹿児島地方教会連合会

定期総会

※一教会、教師一名、信徒一名の出席にて開催。

二月二日(日) 午前十一時より

加治木教会

※前日掃除御用

報徳祭奉仕

2月

- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半 後掃除御用
- 2 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時
- 3 (月) 甘木親教会参拝日
- 4 (火) 甘木手柴家霊祭
- 甘木親教会初代立日御祈念 10時
- 9 (日) 大口教会一年祭
- 清掃御用 10時
- 10 (月) ●月例祭 10時半
- 11 (祝・火) 多良木教会 報徳祭 11時
- 17 (月) ●甘木親教会 報徳祭 11時
- 18 (火) 甘木親教会「同釜会」
- 21 (金) 清掃御用 10時
- 22 (土) ●月例祭・共励会 13時半
- 28 (金) 清掃御用 10時

